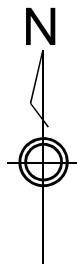


再評価対象事業

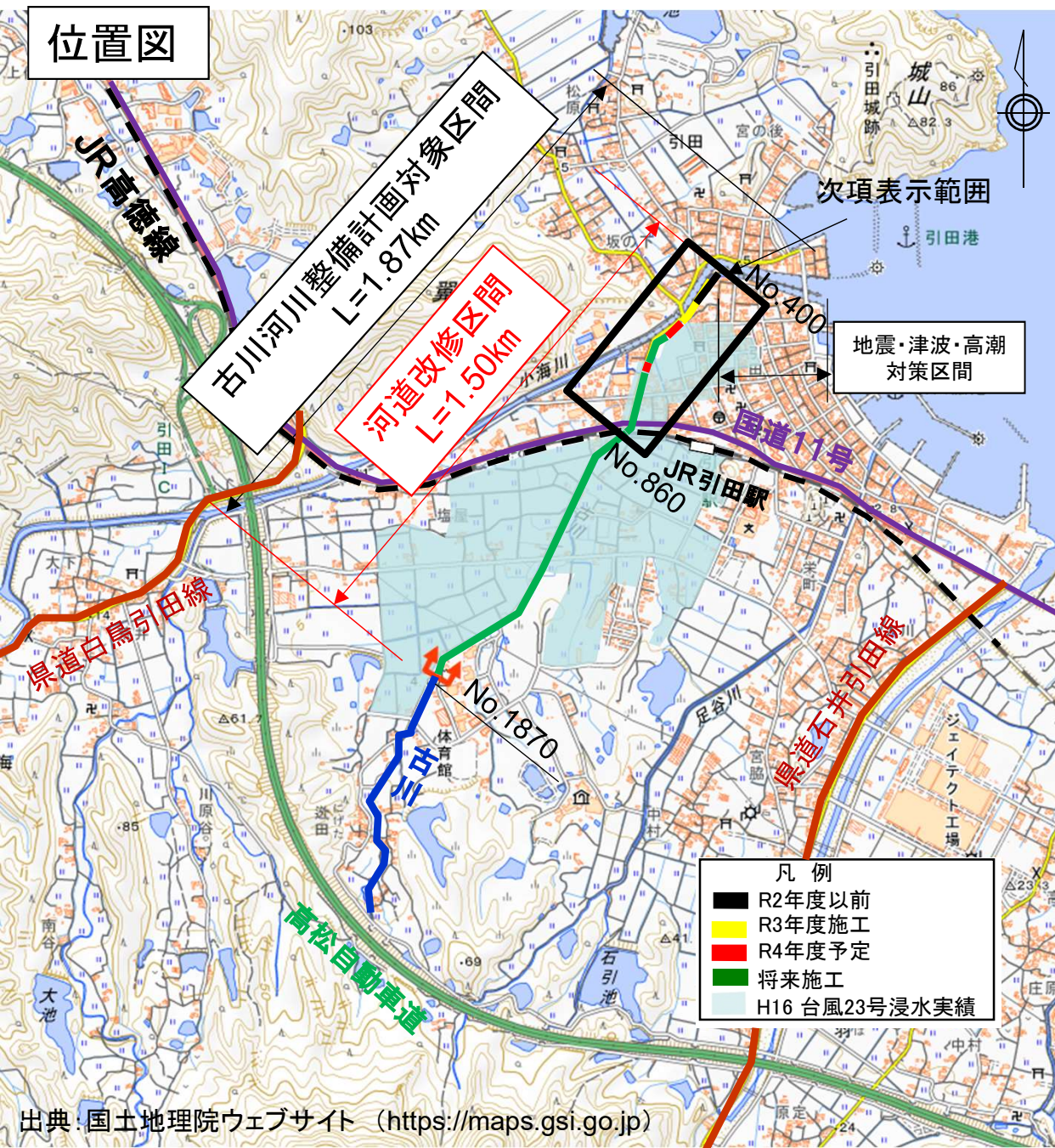
大規模特定河川事業 古川

香川県土木部河川砂防課

1. 再評価対象事業 位置図



2. 再評価対象事業 計画図



河川改修の経緯

- H15 (2003) : 平成15年災害
(浸水家屋4棟)
- H16 (2004) : 平成16年災害
(浸水家屋248棟)
- H23 (2011) : 平成23年災害
(浸水家屋55棟)
- H29 (2017) : 河川整備基本方針策定
河川整備計画策定

河川整備計画の概要

対象期間

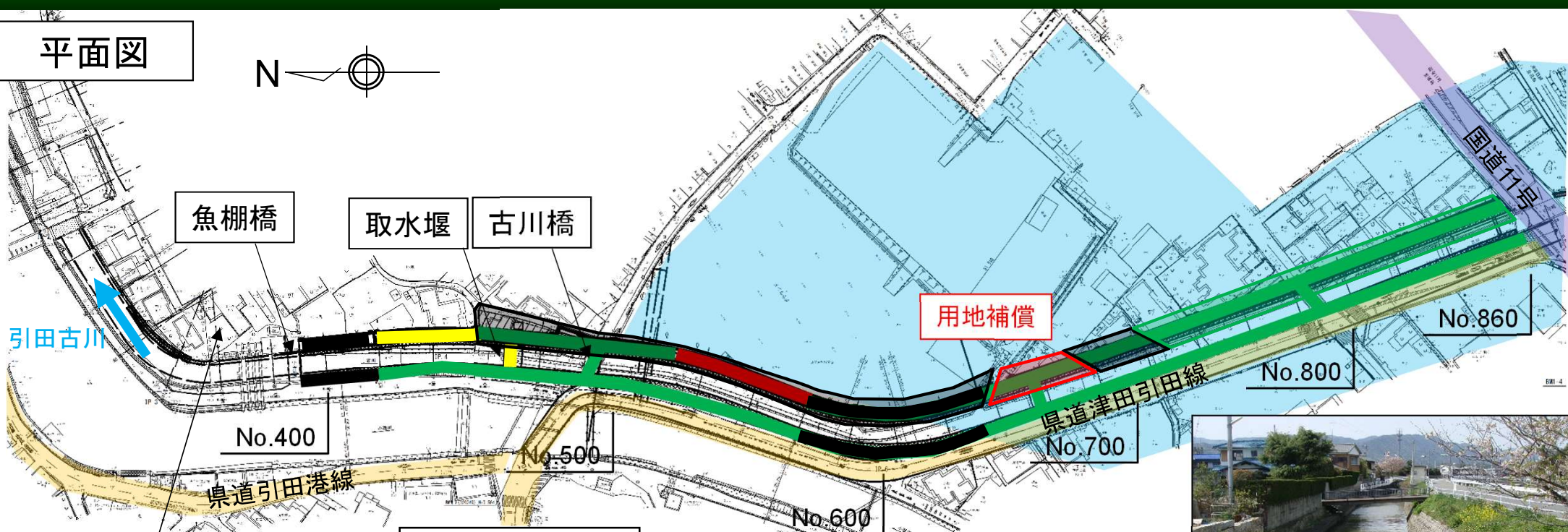
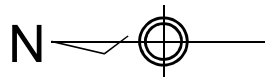
- 概ね20年とする

対策の目標

- 流域の人口、資産状況、氾濫面積等の治水上の重要度や過去の水害実績を考慮し、5年に1回程度の降雨で発生する洪水を安全に流せること

3. 再評価対象事業 説明図

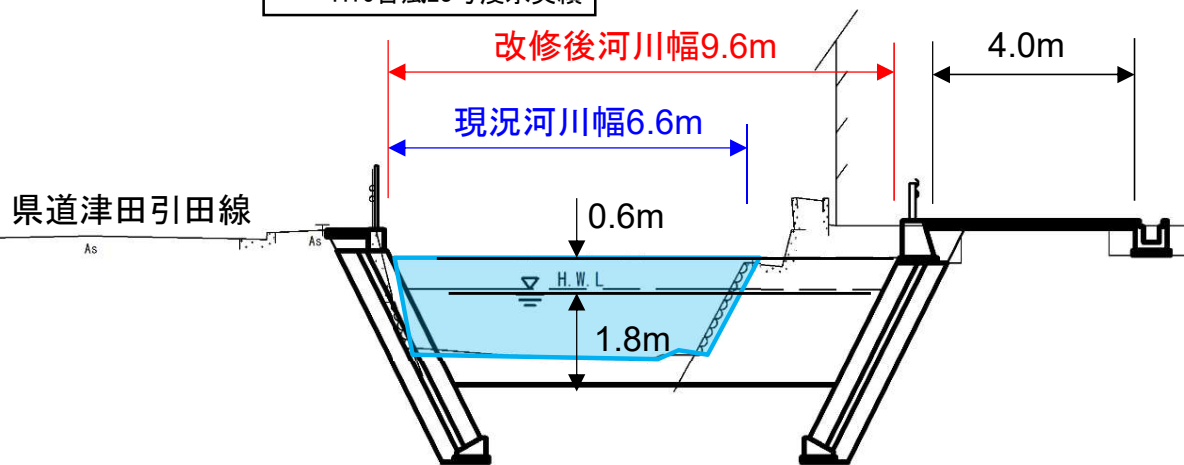
平面図



- 凡例
- R2年度以前
 - R3年度施工
 - R4年度予定
 - 将来施工
 - H16台風23号浸水実績

横断面図

No.700付近



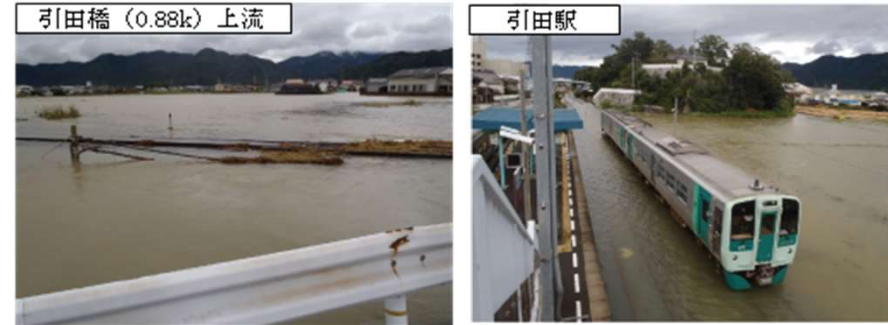
4. 被害の発生状況

過去の浸水被害

出典: 水害統計

発生年月日	発生要因	観測局	最大 時間雨量 (mm/h)	最大24時 間雨量 (mm/h)	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)		
						床下	床上	合計
平成15年8月6日～10日	台風10号	引田	-	-	0.1	3	1	4
平成16年10月18日～22日	台風23号	引田	57	346	54.5	183	65	248
平成23年9月16日～21日	台風15号	引田	43	445	50.0	55	-	55

平成23年 浸水状況



再評価の視点

①事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 未改修区間の現況流下能力は、計画流量（14m³/s）に対し、現況は約30%となっており、河川改修が必要である。
- 平成16年台風23号をはじめ、これまでに、未改修区間において浸水被害が発生していることから、早期の対応が必要である。
- 水害防止の観点から、残る未改修区間についても、地域住民及び地元市は、早期の改修を望んでいる。

2) 事業の進捗状況

- 工事：河道改修区間1, 500mのうち90mが完了し、事業費ベースで15%が完了している。
- 用地：事業費ベースで29%が完了している。

②事業進捗の見込みに関する視点

- 未改修区間において、用地買収及び工事を実施中であり、今後、円滑に進捗できる見込みである。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- 現河川を活用して拡幅することにより用地費のコスト縮減を図る。

対応方針(案)

以上のことから、**事業を継続する。**